

東洋療法いわて

会報第57号

令和7年5月1日発行

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会

《令和6年度活動 写真コーナー》



第1回生涯研修会・白田紘子先生
(2024.6.2)



第1回生涯研修会・会場風景
(2024.6.2)



東鍼連岩手大会・会場風景
(2024.7.7)



東鍼連岩手大会・発表者6名
(2024.7.7)



東鍼連他職種連携研修会・会場風景
(2024.8.4)



東鍼連他職種連携研修会・実技風景
(2024.8.4)



鍼灸マッサージフェア・はり施術
(2024.9.1)



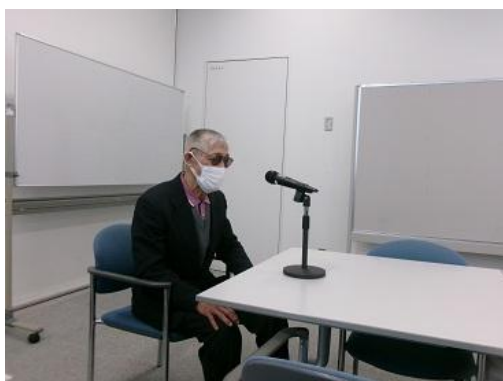
鍼灸マッサージフェア・マッサージ施術
(2024.9.1)



三団体学術研修会・工藤茂先生実技指導
(2024.9.15)



三団体学術研修会・工藤茂先生実技指導
(2024.9.15)



第9回生涯研修会・小澤信男先生講演
(2024.12.8)



懇親会・小澤先生スピーチ
(2024.12.8)



第10回生涯研修会・佐々木実会長挨拶
(2025.2.9)



第10回生涯研修会・松嶋大先生講演
(2025.2.9)



令和6年度第3回理事会
(2025.3.16)



令和6年度第3回理事会出席理事監事
(2025.3.16)

巻頭言



一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会
会長 佐々木 実

令和4年度から3年続けての岩手県師会大事業、即ち一昨年度の創立80周年の記録をまとめた「道しるべ」の発行。昨年度の第22回東洋療法推進大会 in 岩手の開催。そして今年度の第76回東北鍼灸マッサージ師会連合会代議員会並びに第46回学術研修会岩手大会を皆さんの協力により成功させることが出来ました。

これらの事業は岩手県師会の結束を図るとともにモチベーションアップに大いに役立ちました。

また、今年度は岩手県知事表彰を3人の方が受賞されました。保健功労賞を佐々木忠久氏、自立更生賞を古水健吾氏と佐々木実。県知事表彰を同じ会から3人も出すというのは、過去にはない快挙です。これも個人の努力は勿論のこと、会活動の盛り上がりの結果の一つとして皆さんと共に祝いたいと思います。

さて、次年度はこれら大きな事業も終わり、岩手におけるあはき業の充実、取り分け物価高騰の中苦しんでいる鍼灸マッサージ開業者の収入アップにつながる方策を考えて参りたいと思っております。SNSを通して鍼灸マッサージ学生や県民との交流を深め、2月に厚労省から発せられた「鍼灸、按摩マッサージ指圧広告ガイドライン」を生かしての無免許者問題に取り組んで参りたいと考えています。会員皆さんの一層のご協力をお願いして巻頭言といたします。

東洋療法いわて ― 会報第57号 目次

写真コーナー	2
巻頭言	会長 佐々木実 ... 3
令和6年度総務部記録	総務部長 古舘吉弘 ... 6
令和6年度第83回定時総会報告	記録人 中渡智彦 ... 7
役員紹介 理事・監事	9
令和6年度学術部報告	学術部長 佐藤 明 ... 9
保険部報告	保険部長 井口 力 ... 12
全国保険者会議報告	保険部長 井口 力 ... 12
組織強化部報告	組織強化部長 中渡智彦 ... 13
事業部報告	事業部長 舘下正則 ... 13
健康づくり委員会報告	委員長 古水健吾 ... 13
無免許対策委員会報告	委員長 中村龍哉 ... 14
視覚障害委員会報告	中渡智彦 ... 14
第2回視覚障害者 zoom 研修会報告	中渡智彦 ... 15
令和6年度全鍼視覚障害委員会会議報告	中渡智彦 ... 15
法制委員会報告	佐藤 茂 ... 15

各大会・会議等報告

第23回東洋療法推進大会 in 徳島参加報告	舘下正則 ... 17
第23回東洋療法推進大会 in 徳島報告	佐々木実 ... 18
全鍼師会令和6年度定時総会報告	代議員 佐藤 明 ... 19
全国師会長会議報告	会長 佐々木実 ... 20

第46回東北鍼灸マッサーヂ学術岩手大会報告	佐藤 明	… 22
第76回東鍼連通常代議員会岩手大会報告	代議員 古舘吉弘	… 23
東鍼連宮城交流会に参加して	佐々木実	… 24
東鍼連岩手大会臨床体験発表抄録	佐藤 明	… 25

各支部報告

二戸支部	支部長 古舘吉弘	… 26
盛岡支部	支部長 佐藤 明	… 26
遠野・花北支部	支部長 高橋則夫	… 28
奥州支部	支部長 中村龍哉	… 28
一関支部	支部長 舘下正則	… 29
大船渡支部	支部長 古水健吾	… 29
釜石・宮古支部	支部長 佐々木きみ子	… 29
編集後記	広報部長 高坂徳一	… 30

奥付

広告



一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会

令和6年度総務部記録

総務部長 古舘 吉弘

- 4月 4日 東鍼連学術委員会会議(オンライン)に佐藤明学術部長と佐々木会長出席
- 4月 6日 全鍼保険説明会(オンライン)に井口保険部長出席
- 4月10日 市民税納入
- 4月13日～20日 理事、監事立候補者受付
- 4月21日 第1回執行部会議並びに第1回監査会開催(オンライン)
- 4月24日 県民法人税納入
- 5月12日 第83回定時総会並びに第1回理事会及び臨時理事会開催(アイーナ、ハイブリット)
- 5月26日 全鍼代議員総会、協同組合総代会、「あはき」連盟総会に佐藤明代議員として(オンライン)で出席、佐々木実会長全鍼理事として出席(東京)
- 6月13日 東鍼連学術委員会会議に佐藤明学術委員と佐々木実会長出席(オンライン)
- 6月26日 東鍼連第2回実行委員会開催(オンライン)
- 7月 5日 東鍼連代議員会会議に古舘吉弘代議員、井口力保険部長、佐藤明事務局長、佐藤茂財務局長、佐々木実実行委員長出席(オンライン)
- 7月 6日 自立更生部門で古水健吾氏と佐々木実氏が岩手県知事賞受賞
- 7月7日・8日 東鍼連岩手大会(花巻市松倉温泉・風の季)(ハイブリット)開催
- 7月15日 伊藤久夫前全鍼師会会長のお別れ会に佐々木実会長出席(大阪)
- 7月28日 第2回執行部会議開催(オンライン)
- 8月 6日 盛岡市と「生活保護法による医療扶助運営要領の一部改正に伴う施術(あん摩、マッサージ、鍼、灸)に関する変更協定書」を取り交わす
- 9月 1日 鍼灸マッサージフェア 2024 開催(アイーナ)
- 9月 6日 全鍼法制委員会会議に佐藤茂出席(オンライン)
- 9月12日 全鍼東洋療法推進大会 in 徳島準備会議(オンライン)に佐々木実出席
- 9月15日 三団体研修会(健康保持のための研修会)盛岡視覚支援学校
- 9月29日・30日 東洋療法推進大会 in 徳島に佐々木会長、伊藤庸一、舘下正則氏現地出席、5名がオンライン参加
- 9月30日 盛岡市と「生活保護法による医療扶助及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律による医療支援給付の施術(あん摩マッサージ、鍼灸)に関する変更協定書」(10月1日施行)を交わす
- 10月 8日 全鍼に選挙管理委員名簿提出
- 10月17日 岩手県労災補償課と労災保険に関する料金変更協定書を交わす
- 11月 9日 全鍼保険部長会議に井口力保険部長出席(オンライン)
- 11月10日 全鍼師会長会議に佐々木会長出席(東京 BIZ 新宿)
- 11月14日 東鍼連学術委員会会議に佐藤明学術委員と佐々木実会長出席(オンライン)
- 11月17日 第2回理事会並びに監査会開催(オンライン)
- 11月20日 東鍼連第1回理事会に佐々木会長と井口保険ブロック長出席(オンライン)
- 11月21日 岩手県保健功労賞を佐々木忠久氏受賞
- 11月25日 全鍼視覚障害委員会第2回 zoom 研修会に5名参加(オンライン)
- 11月27日 岩手県師会HP作成第1回会議に7人参加(オンライン)
- 12月10日 全鍼師会に岩手県師会代議員と補欠代議員立候補者を届ける。

12月20日 岩手県師会HP作成第2回会議に業者含め8名参加(オンライン)
令和7年1月19日 第3回執行部会議(アイーナ)
2月 2日 視覚障害者関連団体協議会会議開催佐々木実会長出席(岩手県視福会館)
3月14日 盛岡医療大学卒業式に会長代理として佐藤明副会長が出席
3月16日 第3回理事会開催(アイーナ)
その他、会長が全鍼の理事会や視覚障害委員会の会議に出席しております
県師会情報メールを165回配信
令和6年度会員動向について
県師会、入会者2名・退会者6名
全鍼、入会者3名・退会者7名

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 令和6年度第83回定時総会議事録

日時:令和6年5月12日(日)

10時20分～12時

場所:アイーナ・501A

記録人:中渡 智彦

記

開会に先立ち、古館吉弘総務部長から会員数89名中35名の出席、委任状40名、欠席14名があり、定款第17条を満たしており定時総会が成立することが告げられた。

議長と議事録記録人、議事録署名人は執行部一任を受け、出席理事より議長に古水健吾氏、議事録記録人に中渡智彦氏、議事録署名人には田沢博崇氏、高橋則夫氏が選任された。

議事

第1号議案 会長会務報告(佐々木実会長)

- ・全鍼の伊藤久夫会長が4月14日に亡くなられ、県師会として弔電を送ろうとしたが、大阪師会が中心となって、7月15日にお別れの会を計画しているので、その時に送ることにした。伊藤会長の死去に伴い、長嶺芳文副会長代行が5月26日に会長に就任することになった。
- ・6月から療養費が改正され、マッサージ1部位が100円上がり、往療料4km 後の廃止は10月から。詳しくは6月2日の研修会で話す予定。
- ・無免許対策を国に求めているが、罰則を含めた法の改正はなかなか難しいようだ。厚労省では今年度から予算を付けて、世の中には無免許の人もいることを電車の中刷り広告などで国民に知らせることを考えているという。
- ・飽和状態となった理学療法師が働く場がないため、開業権がないため「整体」という看板を上げて無免許マッサージを行っている。また、柔整師は保険を使うのが難しくなっているために、「柔整マッサージ」と称して違法行為を行っている。が、現時点で取り締まる手立てがないのが現状である。
- ・去年県師会で作った「国家資格免許治療院」というラミネート版を開業してる人たちは外に見える所に貼ってほしい。
- ・ホームページを作ってる人達は、国家資格免許であることを強調するようにしてほしい。
- ・岩手県師会を初め、全鍼の会員が減ってきている。原因として高齢化や若い人たちが開業より就職を選ぶために入会しないのが現状である。会員を何とか増やすため全鍼

では今年から紹介した人と紹介された人は、1年間会費が半額になるという策を始めた。

第2号議案 令和5年度各部事業報告とその承認

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、介護予防事業推進委員会、無免許対策委員会より順次報告があり、全会一致で承認された。

第3号議案 令和5年度財務部収支決算報告並びに監査報告とその承認

佐藤茂財務部長より令和5年4月1日から令和6年3月31日までの報告があり、続いて監事から帳簿や領収書綴り等にも誤りがないことを認めるとの報告があった。

第3号議案は全会一致で承認され

第4号議案 報酬並びに旅費規則一部改正とその承認

会長よりコロナ禍からオンラインでの研修会や会議が行われることが多くなったので、日当を決めたい。即ち、6条の2. に「オンラインによる会議参加の場合は、県内外問わず1千円とする。」と明記したいとの説明があり、全会一致で承認された。

第5号議案 令和6年度各部事業計画について報告

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、介護予防事業推進委員会、無免許対策委員会より順次報告があった。

第6号議案 令和6年度財務部予算案について報告

佐藤茂財務部長より令和6年度の予算書(収入、支出)の状況が報告された。

第7号議案 役員改選について

村上直人選挙管理委員長より、理事、監事の立候補者数は定款に定めのある定足数以内であるため、信任投票を行う。当選は過半数との説明があり、投票の結果全員が信任され当選となった。

また、監事も信任投票の結果、朝橋正美氏と菊地弘が当選となった。

第8号議案 東鍼連岩手大会開催について報告

7月7・8日に花巻市松倉温泉・風の季で開催予定。

参加の締め切りを5月31日までとし、来賓者の選定と依頼の状況などが報告された。

第9号議案 その他

臨時理事会の結果の報告があり、新会長(代表理事)には佐々木実氏が再任されたことが報告された。その後佐々木会長より業務執行理事と顧問が発表された。

会長(代表理事) 佐々木 実

業務執行理事 副会長(筆頭)、学術部長、盛岡支部長、IT 担当 佐藤 明

副会長、総務部長、二戸支部長 古舘吉弘

副会長、財務部長 佐藤 茂

事業部長、一関支部長 舘下正則

保険部長 井口 力

庶務部長、組織強化部長 中渡智彦

広報部長、IT 担当 高坂徳一

理事 花北・遠野支部長 高橋則夫

奥州支部長、無免許対策委員長 中村龍哉

大船渡支部長、健康づくり委員長 古水健吾

釜石・宮古支部長 佐々木きみ子

大船渡支部 田沢 博崇

監事 朝橋正美、菊地 弘

顧問 県議会議員 神崎浩之、元副会長 山本英典

相談役 元副会長 伊藤庸一

役員紹介 理事・監事



後列左から 高坂徳一広報部長、井口力保険部長、館下正則事業部長、
朝橋正美監事、古水健吾健康づくり委員長、田沢博崇理事、
中渡智彦組織強化部長、中村龍哉無免許対策委員長、
前列左から 高橋則夫理事、古舘吉弘副会長(総務部長)、
佐々木実会長、佐藤明副会長(学術部長)、
佐藤茂副会長(財務部長)、菊地弘監事

令和6年度 学術部活動報告

学術部長 佐藤 明

令和6年度の生涯研修会は、コロナ禍以前の平常活動に戻ってきたように思います。
むしろ、年間の回数は多くなりました。Zoom でのオンラインやハイブリッド開催を交えながら
10回の計画を組みました。その内容と参加者数を次に記します。

1. 6月2日 第1回生涯研修会をハイブリッド開催、会場参加19名、Zoom 参加8名、付添
1名の合計28名。(アイーナ・501B)

内容(1)講師:井口 力 保険部長

講演:「保険関係の最新情報について」

(2)講師:佐々木実 会長

講演:「マイナ保険証及びアプリ取扱い講習会」

(3)講師:佐藤 明 盛岡支部長、本会副会長

東鍼連岩手大会学術発表予行

講演:「コロナ感染後による咳の鍼灸治療」

(4)「あはき講座」

講師:白田紘子先生(山形県師会理事・白田はり灸院院長)

講演と実技:「アトピー性皮膚炎に対する小児はりの一症例」

2. 7月7日～8日 第2回生涯研修会、東鍼連岩手学術大会ハイブリット開催、会員24名、
Zoom 参加1名と付添4名の29名が参加。(花巻市・松倉温泉「風の季」)

(1)一般公開講座・特別講演

講師：堀田修クリニック院長・医学博士 堀田 修 先生

演題：「慢性疲労、コロナ後遺症と迷走神経—新たな治療戦略の可能性」

(2) 東北6県より6名の先生による臨床研究発表

テーマ：「感染症及び後遺症に対する鍼灸マッサージケアについて」

岩手県発表者：佐藤明盛岡支部長、本会副会長

演題：「コロナ感染後による咳の鍼灸治療」

(3) 全鍼師会会長講演

講師：全鍼師会 長嶺芳文会長

演題：「業界の中央情勢について」

(4) 記念講演

講師：地産地消講談師 地伏亭金目先生

演題：「郷土の先人医学者の歴史」

3. 8月4日 第3回生涯研修会、公開講座・他職種連携学術研修会開催。会員3名、付添1名参加。(仙台赤門医療専門学校)

(1) 講演

講師：仙台赤門短期大学看護学科助教 木島祐子先生

演題：「訪問看護利用者の現況・ニーズと在宅医療福祉の連携」

(2) 講演

講師：東京有明医療大学客員教授 宮本俊和先生

演題：「鍼灸手技療法の特長と役割」

(3) 実技見学と体験

内容：東鍼連会員による会場参加者への鍼灸マッサージ施術

4. 9月1日 第4回生涯研修会、「鍼灸マッサージフェア 2024」。会員18名、付添1名参加。(アイーナスタジオ)

内容：「県民対象無料施術体験会」、「無免許施術者注意啓発活動」

(1) マッサージ施術体験

(2) 鍼・灸施術体験

・一般来場者数女性5名、男性9名の実質14名(前年比－9名)、
3つのコーナーの体験者はのべ33名(前年比－24名)

5. 9月15日 第5回生涯研修会(三団体学術研修会)健康保持のための研修会開催
参加会員20名、全体で40名。(盛岡視覚支援学校)

(1) 講演

講師：筑波大学理療科教員養成施設助教 工藤 滋 先生

演題：「頸肩腕症候群の診察と治療」

(2) 実技

講師：筑波大学理療科教員養成施設助教 工藤 滋 先生

テーマ：「頸肩腕症候群のマッサージとストレッチの方法」

6. 9月18日 第6回生涯研修会、「保険講習会」が zoom 開催。会員17名が参加。

(1) 「療養費・レセプト改定の説明会」

(2) 「療養費新レセプト様式記入方法」

講師：岩手県師会 井口 力 保険部長

岩手県師会 佐々木実 会長

7. 9月29日～30日 第7回生涯研修会、東洋療法推進大会 in 徳島ハイブリット開催。

参加会員3名、Zoom 参加5名と付添1名の9名が参加。
(徳島グランヴィリオホテル)

(1)講演

講師:元テレビ記者・キャスター 丸岡いずみ先生
演題:「現代人の抱える不調と東洋医学の可能性」

(2)講演

講師:関西医療大学特任教授 菅 万希子先生
演題:「フェムテックに鍼灸マッサージをーやさしい AI と Nudge で実現できるー」

(3)講演

講師:全鍼師会 往田和章副会長
演題:「令和6年度あはき療養費の料金改定について」

(4)学術臨床研究発表:全鍼師会会員(オンデマンド視聴)

8. 10月27～28日 第8回生涯研修会、東鍼連宮城交流会開催。会員1名、付添1名が参加。(宮城県・パレス松洲(まつしま))

(1)クルーズ船松島観光

(2)組織強化学習交流会

(3)かまぼこ手作り体験

9. 12月8日 第9回生涯研修会、ハイブリッド開催。会場参加25名、Zoom 参加3名と付添2名が参加。(アイーナ・団体活動室3)

(1)講演

講師:岩手県師会 佐々木実 会長
演題:「業界の中央情勢について」

(2)講演

講師:岩手県師会 小澤信男元副理事長
演題:「会員在籍50年間を振り返って」

10. 令和7年2月9日 第10回生涯研修会、ハイブリッド開催、参加会員14名、Zoom 参加7名、付添1名が参加。(アイーナ・団体活動室3)

学術臨床セミナー

(1)講演

講師:なないろのとびら診療所院長 医師 松嶋 大 先生
演題:「患者の健康について一緒に考えよう！」

(2)保険講習

講師:岩手県師会 井口 力 保険部長
岩手県師会 佐々木実 会長
テーマ:新レセプト様式記入方法他

11. 令和6年度東鍼連学術委員会会議

・7月18日、8月22日、11月24日、2月20日の4回 Zoom 開催した。

令和6年度を通した受講者数は、のべ163名で昨年から37名増えました。

また、単位数25単位以上取得された生涯研修修了証申請者は14名となり、昨年の18名から減少しました。皆様のご協力に深く感謝を申し上げ報告と致します。

保険部報告

東鍼連保険部長会議報告(令和6年5月14日 オンライン)

保険部長 井口 カ

1. 福島県の役員改選にて保険部長が変わるので、今後のブロック長を新たに決めることになり、岩手県の保険部長である私がブロック長になった。
2. 各県の保険取り扱い状況
福島県:それほど厳しくない。同意書を書いてくれない医院が増えている。
山形県:鍼灸マッサージ師会では2億5600万円ぐらいまで取り扱いが減ってきている。
宮城県:内科でも同意書を書いてくれない先生が増えてきている。取り扱いは昨年と同じ
岩手県:同意書を書いてくれる先生が決まってきているので書く先生の負担が増える
3. 往田保険委員長にもう一度6月からの保険改正の説明の要望を出す。YouTube などでも可。
4. マイナンバーカードでの保険証読み取りの方法を各県の保険部長が率先して行い研修会を行ってはどうか。
5. その他、山形県ではケアマネージャー協会の賛助会員になり、山形鍼灸マッサージ師会のPRパンフレットを入れてもらう予定である。

全国保険担当者会議報告(11月9日オンライン)

保険部長 井口 カ

1. 療養費頻度調査について
 - ・国保連の審査が始まり、審査員には平等な審査を求められる様になっている。(個人的な感情は入れない、懲罰感情に走らないようにする等)
 - ・審査会における往田会長が気を付けている事項
同一日同一建物、また夫婦で日を変えて往療に行っているケースに詳細な理由の照会
 - ・施術報告書に施術内容の記載がない事例について施術部位や算定施術項目の変更を求める。
 - ・施術報告書が鍼灸マッサージ併用で作成されている事例に算定取り下げを求める
 - ・長期、頻回の施術について理由書に長期頻回が必要な理由がない事について説明を求める。
 - ・施術者自身が同意を得て、施術を受けている事例について説明を求める。
それらについて各県の審査員をされている方々より様々な意見が出された。
2. 療養費経営についてのアンケート結果
 - ・神奈川では30%が出張専門業者、70%が開業施術所、40%がマッサージの請求
 - ・新規の患者が獲得できないという悩みが53%、事務処理28%、雇用者不足20%
 - ・業務委託には57%が興味ない、興味があるが25%、レセプト代行には興味がある23%ないが76%、必要としている情報は最新の保険情報となっている。

全国的には一人で経営している施術所が半数以上で一か月あたり新規患者獲得数0人が33%、1~2人が59%、一か月の売り上げが50万円以下という施術所が60%ぐらいでどこも経営が厳しいという印象でした。

その他、各県から全鍼に対しての会員獲得のサービスの要望や新規患者の獲得への意見、アイデアなどが出され終了となった。

組織強化部報告

東鍼連組織強化部担当者会議に参加して

中渡 智彦

6月8日(土)夜8時からラインで、東鍼連岩手大会の打合せ会を行い、青森を除く5名が参加しました。

1. 令和6年度の会員数は、青森45名、岩手89名、秋田49名、山形78名、宮城94名、福島72名と、1番会員数の多いのが宮城、次に岩手となっています。

入会者は青森1名、岩手1名、秋田0名、山形2名、宮城0名、福1名に対し、去年の退会者は青森4名、岩手4名、秋田4名、山形7名、宮城16名、福島4名と、どの県も入会者より退会者が多いことが分かります。

理由としては、会員の高齢化で治療院を廃業したり、保険取り扱いをしなくなったことなどが考えられます。また、県外に転出後、全鍼会員を継続している人もいます。

2. 去年の取り組みとして青森では、青森地区臨床基礎講座3回、マッサージ実技1回、経営座談会1回。岩手は7月の東鍼連青森大会、10月の「第22回東洋療法推進大会 in 岩手」を初め、6回の生涯研修会を行った。

宮城は、宮城国際トライアスロン仙台ベイセヶ浜大会ボランティア参加。

山形は、オンラインツール、SNSを使った会員獲得 zoom 会議参加。

11月、山形県健康福祉部医療政策課長へ無資格者に関する抗議文提出

3. 令和6年度の取り組みとして、岩手は7月7・8日に東鍼連岩手大会を初め、7回の生涯研修会を予定しており、山形は7月、東鍼連学術大会(岩手県花巻市)、9月、東洋療法推進大会 in 徳島、10月、山形まるごとマラソン大会マッサージボランティア参加、東鍼連宮城交流会への参加を予定しています。

福島は、福島県鍼灸マッサージ赤十字奉仕団を結成し災害発生時には、災害支援鍼灸マッサージ活動に対応実施している。また、各種スポーツ競技における鍼灸マッサージボランティアを行い啓蒙活動に取り組んでいる。また、年2回の会報を発行し会員相互の情報を共有しているそうです。

4. 今後の課題としては、会員離れと高齢化、入会者や会に入会するメリットをどのように増やすか、東鍼連岩手大会で話し合うことにしました。

最後に、10月27(日)・28日(月)に宮城県松島で行われる宮城交流会の呼びかけがあり、9時頃に終了しました。

事業部報告

舘下 正則

スポーツボランティアは今年度は行いませんでした。来年度は盛岡市と奥州市でマラソン大会でのボランティアを行おうと考えています。

その他、東鍼連岩手大会や東洋療法推進大会 in 徳島に参加しました。

健康づくり委員会報告

委員長 古水 健吾

令和6年度の委員会活動内容を次に記して報告します。

1. 第30回勉強会と打ち合わせ会議開催

- ・期日: 令和6年6月2日(日)15時30分～16時 出席者4名
- ・会場: アイーナ5階・501b
- ・令和6年度健康づくり委員会活動計画について
 - ①9月1日鍼灸マッサージフェア 2024 の健康づくりコーナーは設置しないことを承認
 - ②健康づくり教室の開催については委員会メンバーがサポート
 - ③健康づくり委員会会議は年度末に開催することを確認
 - ④3月の全鍼師会介護予防担当者会議(オンライン)に出席
- 2. 健康づくり教室開催
 - ・東洋医学健康講座・まちなか治療室: ハマナスの会
 - ①5月15日～7月24日まで5回実施した
 - ②委員会メンバー: 佐藤明、朝橋正美、澤田誠之の3名で実施した
 - ③一般市民のべ23名参加
- 3. 令和6年度末委員会会議開催
 - ・期日: 令和7年2月9日(日)15時30分～16時 出席者4名
 - ・会場: アイーナ6階・団体活動室3
 - ・議題: 令和7年度活動計画(案)の討議と承認
 - ①令和7年度委員会会議の開催: 6月8日・生涯研修会終了後に予定
 - ②県師会主催の鍼灸マッサージイベントに協力
 - ③健康づくり指導者の人材育成
 - ④健康教室に委員会メンバーを派遣
 - ⑤年度末に委員会会議予定
 - ⑥全鍼師会介護担当委員会会議に出席(3月オンライン開催予定)
- 4. 全鍼師会介護予防担当者会議(オンライン)出席
 - ・開催期日: 令和7年3月8日(土)
 - ・古水委員長がオンライン出席した
- 5. その他
 - ・委員会加入: 澤田誠之(5月15日)
 - ・現在所属委員: 朝橋正美、伊藤庸一、佐藤明、澤田誠之、田沢博崇、古水健吾
 - ・全鍼師会からの情報を取り入れながら、新年度も活動したいと思います。

無免許対策委員会報告

中村 龍哉

- ・鍼灸マッサージフェアで無免許撲滅パンフレットを配った。
- ・無免許違反広告チラシや看板写メを保健所に提出し取り締まりを求めた。
- ・厚労省からの「広告ガイドライン」発出を待ってこれからの無免許対策を練ろうと考えている。

視覚障害委員会報告

視覚障害者委員会第1回研修会報告

中渡 智彦

7月10日(水)に第1回研修会が7時からオンラインで行われ、全国から多くの参加がありました。

今回は視覚障害者がパソコンを使う上で不可欠な画面読み上げソフトである PC-Talker

やメールソフト、音声ブラウザの NetReaderNeo などを作っている高知システムのサービス部で公報や営業活動を行っている北村さんという方から高知システムの成り立ちや視覚障害者向けのソフトを開発するきっかけ、今後どのようなソフトを作っていきたいのかが注目されましたが、AI の技術を生かした製品づくりが出来ないか考えているそうです。MyNews と AI を組み合わせることで、ユーザーが良く読んでいるニュースを AI が覚えて、ユーザー専用のニュースを選んでくれるようなソフトや、MyBook Neo と組み合わせて、新刊の中からユーザーの好みの本を見つけ、自動的に本棚に保存してくれる機能を搭載したソフトを作れるかも知れないとのお話をしていただき、会は8時半頃に終了しました。

かつては XP リーダーや Focus Talk など何種類かのスクリーンリーダーがありましたが、全部開発が終了しており、今も頑張っている高知システム開発さんには期待したいものです。

第2回視覚障害者 zoom 研修会報告

中渡 智彦

11月25日(月)19時からオンラインで、研修会が行われ、全国から25名ほどが参加しました。

最初に佐々木 実視覚障害委員長から視覚障害者機器展サイトワールドの報告がありました。それによると42のブースが出ていたようですが、人気なのは歩行補助具や音声で知らせてくれる電化製品。中でも手ごろな値段も相まって「あしらせ」が注目を浴びていたようです。

ただ一つ医療メーカーとして参加していた(株)フォラケアジャパンは非接触型体温計やパルスオキシメータを出していましたが、どれもスマホと連携して行うものなそうで、単体で使える物を要望して来たとのことでした。

続いてカルテ管理ソフトの三療カルテについて、日本障害者ソフトの谷口さんから紹介していただきました。このソフトは、PC-Talker で使うことが出来、全盲者から弱視者の方もマウスを使わずにすべてキー操作で使えるソフトとのことでした。

研修会は9時頃に終了しました。

令和6年度全鍼視覚障害委員会会議報告

中渡 智彦

3月5日午後7時から zoom で行われ、参加者は35名でした。

1. 令和6年度活動報告では研修会や会議を行ったことが報告された後、毎月第二、第四水曜日に行われている電話相談の件数の説明がありました(2月までで44件)。
2. 令和7年度活動計画では、7月と11月頃に zoom 研修会を予定していて、1回は同行援護を利用して訪問マッサージをしてる人がいれば話を聞く場を設けたいことが話され、8時10分に会議は終了しました。

法制委員会報告

都道府県法制担当者会議

佐藤 茂

9月6日の午後8時から一時間くらいにかけて、久しぶりの法制担当者会議(zoom)が開催され佐藤茂が参加いたしました。参加者は34名で、議題は以下の通り。

1. 広告ガイドラインを終えての総括

2. 質問事項
3. パブリックコメントをどうするか？
4. 全鍼としての今後の方向性について
5. その他

広告について特に内容が広がったことはなかったのですが、大きな点は治療院という名称は使用できると明文化されてたことでしょうか。

もう一つ大きな点では無免許や柔整や理学療法など、別の免許はあってもあん摩マッサージ指圧と変わらないことをしている者ら（これも言わば無免許）の抑止には前進する可能性があります。

よく巷でみかける無免許の誇大広告や接骨院の看板に大きく肩こりや腰痛などを表現したイラストを描き、これらの症状に効果があると暗にイメージさせるマーケティング戦術の他、インターネットの内容にまで踏み込んだガイドラインとなっております。

今現在の取り締まりは、各保健所の職員の裁量にまかせられております。実際、広島県では無免許は許可制ではなく届け出制だから取り締まりようがないと返答されたたり、ここ岩手県では盛岡市と一関市では無免許取り締まりに温度差があります。

この広告ガイドラインは厚労省つまり国の決定したこととなるので、全国統一の取り締まりが実施される可能性があります。

ただ、私たち免許持ちも襟を正さなくてはなりません。免許持ちによる整体という文言のみならず、漢方や東洋医学（例えば漢方〇〇治療院や〇〇東洋医学研究所など）という言葉。対象者を特定するような（例えばレディース鍼灸院など）文言で大きな宣伝は不可となりそうです。

「あはき法は私たちのためではなく、国民の安心安全のためにある」と森法制委員長も述べておられましたが、無免許を法的に規制するからには私たちにも法規制で縛られないと整合性のある主張ではないのも事実です。

質問を求められた際に、大体いつ頃施行されるのか聞こうとしました。今回のために新しく購入したイヤホンマイクで臨んだのですが、イヤホンは機能してもマイクが機能せず、いくら画面越しに言葉を出しても向こうには聞こえず質問を断念。（機械音痴とはいえ誠に申し訳ありません…）

ガイドライン上の無資格という言葉が無免許に変更してはや、行政の指導要請の用紙の全国統一の話とか、「もみほぐし」などの文言が無免許には使用できないようにしてはとか、無免許は風営法にしていれば無免許マッサージは風俗ということになるから、それで彼らの世間でのイメージダウンを謀ろうではないかななどの意見があったりしました。

もう一つ、「何だと！」と思った情報がこの会議で聞けました。今現在、自由民主党の総裁選に立候補している石破茂はカイロプラクティックの団体の最高顧問をしており、この人が総理大臣になると我々にとって不利になるのではという心配の声もあがりました。

石破茂とカイロプラクティックの話は本当のようです。「石破茂 カイロプラクティック」と検索してください。しっかりと閲覧できます。

パブリックコメントでの議題に入りどうするかということになりました。

その前にパブリックコメントとは何かというと、意見公募のことで国の行政機関が政令や省令等を定めようとする際に、事前に、広く一般から意見を募り、その意見を考慮することにより、行政運営の公正さの確保と透明性の向上を図り、国民の権利・利益の保護に役立てることを目的としているもののことです。

これは全鍼師会が会員の意見をまとめて出すのかそれとも各会員で出すのかどうするかとなりました。ちなみに期限が9月28日までだったので徳島の東洋療法推進大会までに間

に合わないので、会員から意見を広く募ることができないので全鍼師会がまとめて出すことは適いません。

そこで意見を国に述べたい方はこちらの URL からどうぞ <https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDDETAIL&id=495240141&Mode=0>

その他の議題で業界の情勢ですが、日鍼会から「あはき法」改正の呼びかけがされ全団
体で協議されているとのこと。

どうやら日鍼会では第一条を変えたい思惑があるようです。森法制委員長によれば日鍼
会の目的は自分たちの為だけにあるとのこと。

以下に第一条の条文を記します。

第一条 医師以外の者で、あん摩、マツサージ若しくは指圧、はり又はきゆうを業としようとする者は、それぞれ、あん摩マツサージ指圧師免許、はり師免許又はきゆう師免許(以下免許という。)を受けなければならない。(昭三〇法一六一・昭三九法一二〇・昭四五法一九・一部改正)

至極まっとうな文章であります。これを変える余地があるのでしょうか？日鍼会に聞いて
みたいものです。

他には理学療法士会の会員が15万人もあり、ロビー活動はしやすいようで、厚労省も理
学療法士の職にあふれている実態調査に乗り出しており、何やら不可解だ(理学療法士会
は開業権を狙っているのでは)という話や、鍼灸学校の経営の厳しく京都の学校も夜間部は
2桁も人数が集まらなく柔整学校も厳しい経営状態であるとのこと。

時間も9時を過ぎたところで、法制委員会議は解散となりました。

岩手からも徳島の東洋療法推進大会に参加される方がおられますので、法制委員から広
告のガイドラインの話が聞けるはずですので参加される方は耳をかたむけてさしあげてくだ
さい。

各大会、会議等報告

第23回東洋療法推進大会 in 徳島参加報告

事業部長 舘下 正則

9月28日、東京21時50分発、唯一国内で走っている最後の寝台特急「サンライズ出雲・
瀬戸」に乗り、岩手県師会相談役の伊藤庸一先生と私の2名は岡山から高松へ上陸。

いよいよ徳島駅に到着です。前日現地入りされていた、佐々木実ご夫妻と会場で合流と
なりました。

さて9月29日午後、開会式及び講演会に参加しました。

講演会(1)元日本テレビアナウンサーでミヤネ屋に出演されていた丸岡いずみ先生の講
演でした。先生は番組終了後に体調を崩され、医療機関を受診するも回復せず優れなかつ
たが、鍼灸に出会いその素晴らしさを色々な講演の席で話されたそうです。

講演会(2)フェムテックについて

関西大学教授、菅万希子先生は第22回岩手大会でも講演されましたが、岩手大会の時
は総論的な講演でした。徳島大会では、各論的な更年期障害によるホルモンバランスによ
る不定愁訴について話されました。このような症状の改善は私たち鍼灸の得意な分野で
はないでしょうか。全鍼師会としてもフェムテックを継続して追っていくそうです。

講演会(3)

会員の減少をみんなで考えていきたい。それが永遠のテーマです。

講演会(4)

無免許対策について、都道府県師会でも無くすよう努力してほしい。

私は、全国大会に参加して全国の業友と意見交換ができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。次の日は、道後温泉に宿泊し瀬戸内海の幸を堪能しました。その後、しまなみ海道を經由し福山から帰路に着きました。

東洋療法推進大会 in 徳島報告

佐々木 実

大会は9月29日(日)から30日(月)にかけて徳島市の「徳島ホテルグランヴィリオ」で行われました。参加者は現地参加約200名、zoom 参加約50名でした。岩手からは私たち夫婦と伊藤庸一さん、館下正則さんの4人が参加しました。

29日12時から開会式が行われ、長嶺会長からは「自分が就任して初めての大会なので是非成功させたい」と挨拶。

次いで地元出身で元日本テレビキャスターの丸岡いずみ氏による特別講演(「現代人の抱える不調と東洋医学の可能性」)がありました。彼女は自分が鍼灸治療を初めて受けた時の印象や、効果に驚いたことなどを話されました。

その後は、今全鍼が最も力を入れているフェムテックについて経済学博士/MBA/関西医療大学フェムテック寄附講座特任教授菅万希子先生による「フェムテックに鍼灸マッサージを」の講演がありました。菅先生のフェムテックについての話は三大会連続の講演で、政府を巻き込んで女性特有の疾患の治療や女性あはき師の増加に力を注ぎたいというものです。そのためにもエビデンス蓄積が必要で、今行っている施術者と患者合わせてのアンケート調査にご協力願いたいとのことでした。

一日目最後は往田保険委員長による「令和6年度あはき療養費の料金改定について」という演題で10月1日から変わる受領委任払い制度についての話でした。

この中で、マイナンバー読み取りアプリ導入の義務化(12月1日より)が視覚障害者だけの施術所や施術者全員が70歳以上の施術所、間もなく閉所する予定の施術所等は導入の義務化を免れることが決まったとの報告がありました。最近の政府は「付焼刃」的政策が多いのにはあきれてしまいます。

夜6時から懇親会です。バイオリンと琴の音に迎えられ会場へ。アトラクションでは阿波踊りの実演があり、みんなで楽しく踊りました。

その後二次会があったのですが、定員40名ということで(参加者の5分の1)、私も参加しようと思ったのですが早々にチケットがなくなりませんでした。

二日目はシンポジウム。一つ目は、「新たな潮流・生み出す未来」の徳島大会のテーマに沿ってどうしたら会員増強につながるかをフロアや zoom 参加者から意見を出してもらうというものでした。SNS 等を活用して若い人たちに受けるような会の PR をして行くことなどが提案されました。

二つ目は「広告ガイドラインと無免許問題」と題して、間もなく発表される広告ガイドラインについて厚労省の柳田専門官より説明がありました。その後は無免許問題について質問が集中！取り締まりの決定打はないものの、今回発出される広告ガイドラインを駆使してこれまでよりは取り締まりやすくなった旨が述べられました(?)。

12時10分から閉会式が行われ、高島弘和徳島県師会長より謝辞が述べられ、大会旗が徳島から来年の開催地石川県常盤和成師会長に渡されました。来年は金沢市で9月27日(日)～28日(月)の二日間行われます。

大会は一日目は曇りでしたが、二日目は30度を超える天気となり、北から行った者には「四国はまだ夏！」という印象でした。でも、心配されていた台風もなく、とても穏やかで良い大会でした。

全鍼師会令和6年度定時総会報告

代議員 佐藤 明

令和6年5月26日(日)11時から15時にかけて、新宿区立産業会館3階研修室において、全鍼師会令和6年度定時総会は、ハイブリッドで開催されオンライン参加しましたのでご報告いたします。

廣野敏明副会長の司会進行により開始され、まず、定足数の確認では、全国の代議員数76名中、会場出席34名、オンライン出席32名、欠席10名で総会は成立しました。

そして、定時総会直前の理事会において、新たに選任された長嶺芳文会長のあいさつがあり、議長、議事録記録人・署名人の選任を行い議事は進行しました。

まず、第1号議案の令和5年度活動を含む事業報告、第2号議案の令和5年度収支決算報告と監査報告は出席された代議員全員に承認されました。続いて、第3号議案は役員補充選任については、監事に欠員が生じたため補充することになり承認されました。

次に、第4号議案の令和6年度基本方針と事業計画、第5号議案の令和6年度収支予算報告も代議員全員の拍手で承認されました。そして、第6号議案の地方提出議案については、福島県師会、石川県師会、福井県師会、広島県師会の4つの県師会から出され、会場並びにオンラインによる代議員からの提案と質問に対して、本部役員からは丁寧に答弁がされていました。

それから、主な話題に上ったものは、フェムテック関係、健康経営関係、保険療養費改定関係、全鍼110番保険補償関係などの最新情報の報告や今後の方向性などが話されました。そして、今年初めに発生した能登半島地震災害に対する全国の全鍼師会会員からの災害復興支援金958,802円が、全額被災地の石川県鍼灸マッサージ師会に寄付されたとの報告がありました。また、全国の会員数は、令和6年3月末で正会員5,767名、準会員634名の合計6,401名ということでした。

なお、司会者の廣野敏明副会長から、故伊藤久夫前会長のお別れの会が、7月15日に大阪市内で行われるとのお知らせがありました。

最後に、閉会の言葉では、往田副会長から来年の総会は大阪で開催するとのお知らせがあり、定時総会は終了しました。

全日本鍼灸マッサージ師連盟総会報告

定時総会に引き続き、15時から15時40分にかけて、連盟総会は開催されました。

冒頭、自見はなこ参議院議員内閣府特命担当大臣が来場されご挨拶をいただきました。

続いて、日本医師会常任理事釜范敏(かまやちさとし)先生からビデオメッセージがありました。

臼井正一参議院議員からは、車で移動中にテレビ電話でご挨拶をいただきました。

開会宣言、長嶺連盟新会長のあいさつ、正副議長の選任、諸係選任が行われました。

議事として、第1号議案の令和5年度活動報告と収支決算並びに監査報告、第2号議案の令和6年度運動方針及び収支予算案も全員の拍手で承認されました。

運動方針は、政権与党との関係を維持しつつ、党派を超えて本連盟の理解と協力をいた

だけの国会議員と良好な関係を築く努力をする。

各県師会に対して、引き続き活動資金である会費並びに寄付をお願いしたいということでありました。

最後に、自民党障害者問題調査会長、あはき議連会長の衛藤晟一参議院議員からの祝電が披露され、連盟総会は終了しました。

日本鍼灸マッサージ協同組合総代会報告

全鍼連盟総会に引き続き、15時40分から16時30分にかけて、協同組合総代会が開催されました。

議事(1)令和5年度の事業・活動報告とその承認の件

(2)令和5年度収支決算並びに監査報告とその承認の件

この中で共同購買事業全体の売上げ額は498万円で前年度より約24万円増の前年比で5%増加でした

(3)令和6年度の事業計画案とその承認の件

(4)令和6年度の収支予算案とその承認の件

(5)定款第49条による借入金残高の最高限度とその承認の件

以上(1)から(5)については、全員の拍手で承認されました。

次に、(6)役員補欠選挙の件では、埼玉県の長嶺芳文氏が新たに副理事長に選任れたほか、新たに3名の方が委員に選任されました。

最後に、長嶺芳文副理事長の閉会宣言により協同組合総代会は終了しました。

上記三つの会議は、11時から16時30分の1日間のスケジュールで行われました。

会場出席とzoom オンライン出席によるハイブリッド開催のメリットもありますが、音声の質に難点がありました。やはり会場参加が最良なのかも知れません。

全国師会長会議報告

佐々木 実

会議は11月10日、東京のBIZ 新宿にて行われました。

議題は、1. 各委員会並びに後期の件、2. 第23回東洋療法推進大会 in 徳島報告と次年度開催の件、3. 地方提出議案について、4. その他でした。要点のみ記します。

- ・健康づくり委員会では、エイジフレンドリー事業というのが始まっている。これは高齢者を雇うようになった企業が、高齢者の転倒が多いことから転倒予防教室などを理学療法士や鍼灸マッサージ師に依頼するというもので、国が資金を出すとのことで全鍼も乗り出したいとのことでした。
- ・来年の東洋療法推進大会は石川県金沢市の東急ホテルで9月28日(日)～29日(月)に行う。形式は今年と同じで分科会は設けない。
- ・来年の全鍼総会は伊藤会長が生前願っていた大阪開催としたい。5月25日(日)。
- ・会員の減少が止まらない。6,071名となった。一方若い人たちの獲得のためにLINEで全鍼の情報を流したり、今後は動画配信も考えている。
- ・健康づくり指導者育成事業は地方でも行えるようになった(申し込み用紙配布)。

地方提出議案では

- ・(福島)ガラホの人たちも多いのでLINEで流している情報をメール送信してほしい。

- (答え)これからのことを考えるとガラホからスマホに換えて操作出来るように会員も努力してほしい。
- ・(東京)労災保険申請書に「マッサージ」という文言も入れるように働きかけてほしい。
(答え)労災にお願いしてみる。
 - ・マッサージの保険取り扱いにうつ病などの精神疾患を入れてほしい。
(答え)エビデンスが求められるし、政治力も大いに必要。現段階では難しい。
 - ・(岡山)業界合併を望む。
(答え)合併検討委員会を各団体から出して協議したこともある。その結果、今は行事や事業など協力してやれることから始めようということになっている。保険や DSAM などはその表れだ。
 - ・国民に国家資格者の所に治療に行くようにというリーフレットを全鍼で作ってほしい。
(答え)厚労省がそのような動画を今作っている。
 - ・(広島)東洋療法推進大会開催の費用や開催権の負担など教えてほしい。
(答え)ざっくり総予算500万。参加費350万。全鍼持ち出し150万。地元の要望を聞きながら進めて行く。
 - ・紙の健康保険存続運動をしてほしい。
(答え)決まってしまったことだ。マイナンバー保険証は悪いことばかりではない。高額医療差戻は手続きなしで行われるなど良い点もある。それと施術者側としては運動するのはどうかと思う。
 - ・(鹿児島)会の PR 動画を作っては？
(答え)検討している。

その他では

- ・(徳島)協同組合研修会と師会長会を二日間でやっているが、東京で宿泊を取るのは大変なので曜日を日曜と月曜に出来ないか。
(答え)日、月開催、日だけで行う案など考えてみたい。
 - ・(協同組合)労災保険加入が減っている。一人親方でも入れる国の有利な保険なので入ってほしい。
 - ・110 番制度保険の内容を変えたい。即ち、医療賠償ばかりでなくカスタマーハラスメントやセクハラに対応した保険にしていきたい。
 - ・(鍼灸マッサージ連盟)あはき議員連盟の議員27名が今回の選挙で落選したり立候補を断念した。顧問の伊佐先生も落選した。政権がまだはっきりしていないので、少し様子を見てから動いていきたい。
- 昼休み時間には千葉テレビのディレクターが「マーケティング」についてということで30分ほど講演をしてくれました。そして、それを千葉テレビがニュースで流すとのことで取材していました。(こちらでは映らないので残念)
- マーケティングの話では、自分の所のセールスポイント(良さ)をはっきりと認識し訴えていきなさいとのことでした。それが他社と違っていれば、患者さんの求めるものと合致していればマーケティングは成功するとのことでした。
- 「はて？内のセールスポイントは何だ？」と考えながら帰って参りました。私事ではありますが、11月3日にサイトワールド取材、7日に業務執行理事会、10日に師会長会議と1週間に3度も東京に行くというハードな晩秋でした。でも、実りの多い秋でもありました。

第46回東北鍼灸マッサーヂ学術大会岩手大会報告

学術部長 佐藤 明

令和6年7月7日・8日(日・月)、東鍼連岩手大会は、花巻市・松倉温泉「風の季」において開催されました。岩手県師会からは会場参加会員24名、付添い4名、zoom1名の合計29名が参加しました。

岩手県師会実行委員は、前夜から翌朝にかけて準備作業を整えて、11時からロビーで受付が開始されました。

学術大会の開会に先立ち、4月に亡くなられた故伊藤久夫全鍼師会前会長に哀悼の意を表して参加者全員で黙とうを捧げました。

そして、12時から佐藤茂副会長の司会進行により開会式が開催されました。今回の大会テーマは「賢治の郷から鍼灸マッサーヂの理想郷を目指して！」でした。参加者は東北全体で約80名。はじめに、私から開会のことばを述べ、岩手県師会及び東鍼連会長の佐々木実会長の歓迎のあいさつがありました。

次に来賓祝辞を、花巻市長代理の今井岳彦様、全鍼師会会長の長嶺芳文様より頂戴しました。続いて、岩手県知事達増拓也様からのお祝いのメッセージが佐藤明より読み上げられ、県立盛岡視覚支援学校近藤健一校長、MCL盛岡医療大学鈴木一幸校長からのお祝いメッセージの紹介と来賓2名の紹介が行われ開会式は終了しました。

学術大会の最初のプログラムは、一般公開講座・特別講演でした。講師は、仙台市よりお招きしました堀田修クリニック院長・医学博士の堀田修先生でした。演題は「慢性疲労、コロナ後遺症と迷走神経—新たな治療戦略の可能性」というものでありました。

まず、進行役の佐藤明より堀田先生のプロフィールをご紹介させていただきました。講演はスライドを使いながら行われました。

鼻の奥にある上咽頭は、生理的炎症部位で感冒などにより容易に病的炎症へ移行する。上咽頭は脳から排出された脳脊髄液流路である上咽頭リンパ叢があり、迷走神経が豊富に分布する。慢性上咽頭炎は脳機能障害の原因となり、これを治療に生かした上咽頭擦過療法(EAT)は脳の機能障害がもたらす機能性身体症候群に対して効果を発揮する。

ラジオ出演するなどの著名な先生でもあり、公開講座であったことから一般聴講者からも質問が出されていました。

二つ目のプログラムは、東鍼連会員6名による臨床研究発表でした。進行役の座長は佐藤明と佐藤茂の2人により進められました。

臨床研究発表のテーマは「感染症及び後遺症に対する鍼灸マッサーヂケアについて」でした。発表時間は10分間、質疑は3分間以内をアナウンスしてスタートしました。

一番目の発表者の山形県師会の先生はオンラインによる発表でしたが、音声も明瞭で、会場からの質問にも明快に回答されるなど、zoomでも違和感のない素晴らしい発表でした。宮城県、秋田県の3名の先生がパワーポイントを使っただけの発表でありました。岩手からは、佐藤明が「コロナ感染後による咳の鍼灸治療」を発表させていただきました。個人的には3度目の発表の機会となりましたがとても貴重な経験をさせていただいたと思います。

6名の発表終了後、東鍼連会長表彰があり、感謝状と記念品が佐々木会長から各自に贈られ、記念写真撮影が行われました。

三つ目のプログラムは、全鍼師会会長講演です。演題は「業界の中央情勢について」とし、講師は5月に全鍼師会新会長に就任されたばかりの長嶺芳文会長でした。

講演の内容は、自己紹介から始まり、全鍼師会の組織のこと事業活動全般のこと、協同組合事業と政治連盟活動の必要性もあわせてお話いただきました。また新たな取り組みとなるフェムテック、健康経営、災害支援などの抱負を語っていただきました。

そして、夜の部の懇親会へと舞台は変わり、古舘吉弘副会長と高橋則夫理事の司会進行により開会され、佐々木会長の挨拶、神崎浩之県会議員並びに及川清隆県視福協理事長による来賓挨拶が行われ、乾杯の発声は、当会最長老の小澤信男元副理事長でした。

そして、アトラクションメインゲストの日戸楓乃さん一行による東北の民謡が披露されると大いに会場は盛り上がりを見せました。

続いてのゲストは、歌手で鍼灸師の当会専属歌手(?)、高橋のりおさんによる歌唱コーナーへとステージは移りました。いつも以上に美声は響きわたり、ノリノリの歌声に包まれた会場のムードは最高潮となりました。最後にくじ引きが行われ、景品の蜂蜜が多くの人に当たっていました。

懇親会ムードの勢いもそのまま、同じ会場において二次会が行われ、舘下正則業務執行理事と高橋則夫理事の司会により、カラオケの競演となりました。次から次へと思う存分に歌っていただきました。

二日目、四つ目のプログラムは、9時半から「郷土の先人医学者の歴史」と題して地産地消講師の地伏亭金目先生の講談でした。講談をたっぷり聞く機会はそうそうありませんので、歴史に名を遺す先人医学者の「建部清庵」、「大槻玄沢」、「後藤新平」についての語りで参加者を大いに沸かせていただきました。

そしていよいよ大会もフィナーレが近づき、古舘副会長の司会進行による閉会式となりました。各部報告の保険部、組織強化部、学術委員会、次に代議員会報告がありました。さらに、次期開催県の宮城県師会金澤秀紀会長による宮城大会のお知らせがあり、東鍼連の会旗が両県会長の間で引き継がれました。そして、古舘副会長の閉会のことばがあり、岩手大会の一切が無事終了となりました。

第76回東鍼連通常代議員会岩手大会報告

代議員 古舘 吉弘

令和6年7月5日夜7時から9時まで(zoom)ホスト佐々木実東鍼連会長で、第76回東鍼連通常代議員会を行いました。

昨年の青森大会では対面で行われましたが、今年は前もって各会議はオンラインで行い、岩手大会では報告のみとしました。

各県師会長(岩手からは佐々木実)並びに代議員(岩手からは古舘吉弘)、保険部長(岩手県師会井口力)、組織強化部長、学術委員長(岩手県師会佐藤明)、今年度と次年度の事務局長(岩手からは佐藤明)、財務局長(岩手からは佐藤茂)、顧問が出席(笹川青森県師会長欠席以外は全員出席)

議題

第1号議案 令和5年度事業活動報告と承認 佐藤明事務局長、井口保険部長、菊地組織強化部長、佐藤明学術委員長

第2号議案 令和5年度決算報告並びに監査報告とその承認 佐藤茂財務局長、原田監事・金沢監事

第3号議案 令和6年度行事活動計画とその承認 佐藤明事務局長、井口保険部長、菊地組織強化部長、佐藤明学術委員長

第4号議案 令和6年度予算(案)とその承認 佐藤茂財務局長

第5号議案 東鍼連岩手大会について 実行委員長佐々木実

第6号議案 各県提出議案

第7号議案 その他

以上のような議題が全て全会一致で承認されました。

各部報告では

- ・保険部では各県とも取り扱い状況は著しくは悪化していないものの、同意書を書いてくれる医師が減ってきており、これからも厳しくなるのではということでした。
また、マイナ保険証の読み取りなどがうまく行くかどうかについて各県保険部長が率先して研修を受けて研修会を開いたら同課などの報告もありました。
- ・組織強化部では、昨年の交流会は岩手だったが東洋療法退会があり中止となった。今年は宮城が担当することで10月27日と、28日に松島にて開催を予定している。
- ・学術委員会では、8月4日の仙台赤門講堂にて他職種研修会が企画されていることが報告されました。また、これは来年度も継続開催予定であるとのことでした。
- ・最後に、令和7年の東鍼連宮城大会を令和7年7月6日、7日に「ホテル JAL シティー 仙台」(仙台駅西口から徒歩 5 分)で開催することが報告されました。会費は 2 万円とのこと。大会テーマは「森の都から東洋医学の風を起こそう」、臨床研究発表テーマは「競技スポーツに関係した実態調査や症例報告など」。
- ・現在東鍼連の会員数は439名で、前年より22名減とのことでした。

代議員会を今回のようにオンラインで大会前に行うのはとても合理的で良いと個人的には思いました。

東鍼連宮城交流会に参加して

佐々木 実

松島での交流会は10月27日(日)から28日(月)にかけて行われました。参加者は全部で21人(青森1、岩手2、秋田1、宮城10、山形2、福島5)。岩手からは私と妻とが参加。

一日目は午後2時に松島海岸駅に集合。2時半から松島湾周遊船に乗り45分間の島巡りでした。天気にも恵まれ島々がはつきりくっきり。乗った船は小型船でしたのでデッキに出ると波しぶきががかるほどでした。船べりから白杖を下ろしてみましたが波間であと15センチというところで届かず残念。白杖に付いた海水をなめってみたら「うん。確かにしょっぱい」。

松島は日本三景に数えられているだけあって外国人を含めた観光客で大にぎわい。周遊船も二階建ての大きいものから私たちがほぼ貸し切りで乗った小さいものまでたくさん走っています。すれ違うたびに波が打ち寄せ左右に揺れます。紅葉も始まっており周りとのコントラストも抜群。

船から下りて瑞巖寺見学です。山門を入り進んで行くとずらりと並んだ石仏が迎えてくれます。瑞巖寺は禅宗の寺とのことですが、欄間や梁の一本一本にも丁寧に風景や動物が彫り込まれた貴重な文化財。鶯張りの廊下を歩きながらしばしばしえに心をはせました。東日本大震災の津波も瑞巖寺の庭先で止まったとか。

「パレス松島ホテル」はオーシャンビューの和室でした。カーテンを開けるとその前は海、点在する260余の島々。

懇親会は6時からで海の幸を味わいながら自己紹介や情報交換。二次会では(8時半から)カラオケ大会。ホスト役の宮城県師会后藤先生が大活躍。お酒が入るとはじけて、ぶっ飛んで場を盛り上げてくれました。私と妻もその勢いに押されて2曲ずつ歌いました。

三次会は宮城県師会の部屋で12時半まで行われたようですが、私は衆議院選挙結果が気になってテレビやラジオを聞いていて欠席しました。

二日目はホテル前で記念写真を撮り、かまぼこ作りのため「松かま総本店」に出発。昨晚

9時頃から降り出した雨も今朝はすっかり上がって空も明るくなってきました。

かまぼこ屋さんに行ったらすり身をこねこねするところから始まるのかと思っていたら、既にこねこねした物が串に刺されており、それを電気コンロで表裏4分間焼いて出来上がりというものでした。

話しによると、今はタラなどの素材を水揚げしたら船の上ですり身にして陸に運んだり専門にすり身にする場所があるとかで、かまぼこ屋さんではそれを購入しているそうです。

それはともかく、焼き立てのおいしいこと！みんな「あつつ、あつつ」と言いながらほおばっていました。

ここで今回の交流会は解散となりました(11時)。私はその後、金沢宮城県師会長の車で先生が開業しておられる塩釜市へ。浦霞という酒造会社に寄り私だけおちょこで製造しているお酒の飲み比べ。宮城県内限定の阿吽の酒の「吽」を買い求めました。金沢会長からは別の酒屋さんで売っている兄弟酒の「阿」の酒をいただき仙台駅まで送ってもらいました。

途中、古代多賀城の政庁跡を通るという歴史好きの私にはたまらないコースでした。

帰宅したのは4時半。とても良い交流会でした。来年は福島県師会主催で二本松の菊人形祭り見学を中心としたコースを第一の候補に挙げているとのことでした。

また、来年度の東鍼連大会は7月の第一日・月に仙台駅からすぐの「JAL シティホテル」で行うそうです。

以上、私情を込めた報告になってしまいましたが、「すごく楽しい交流会だった」ということを添えて報告いたします。

東鍼連岩手大会 臨床体験発表抄録

【発表タイトル】:コロナ感染後による咳の鍼灸治療

【所属団体】:岩手県鍼灸マッサージ師会

【演者】:佐藤 明

【目的】:鍼灸施術を用いてコロナ感染後2か月間改善しない咳の症状を治癒させることを目的とした

【方法】

＜症例＞・患者29才男性、土木測量関係の会社員

＜現病歴＞・令和5年8月初めにコロナ感染後、咳を発症し咳止めを服用しても回復しないため来院

＜初診＞・令和5年9月30日

＜主訴＞・夜になると咳が激しくなり睡眠不足になる、勤務中でも咳が続き仕事に集中できない

＜所見＞・のどに熱感があり、仰臥位になるため施術中も咳が時々出る
・背部の皮膚はザラつき、上半身を中心に全身的に筋緊張がある

【結果】

＜治療＞・経絡治療方式による主証を肺虚・肝虚の相剋調整と立て本治法と標治法による浅い鍼灸施術を行い、知熱灸を併用して筋肉と筋緊張を緩める目的で施術

＜経過＞・初回から12回目迄は、週に1回の鍼灸施術で全身調整
・初診から3か月後の令和5年年末には咳の症状がほぼ改善

【考察】・慢性疲労による、抵抗力・免疫力の低下でコロナ感染し症状が長期化したことから、自然治癒力を高める目的の施術で健康体に回復したと考える

【結語】・感染症による慢性病症の改善は、気力・体力の消耗を回復させ、気・血・リンパの流れを改善し、中枢神経系と末梢神経系、内臓反射も活性化され治癒したと考える

発表者プロフィール

- ・昭和62年4月 あま指師免許取得
- ・昭和63年4月 鍼師・灸師免許取得
- ・平成 6年7月 鍼灸治療院開業 現在に至る
- ・平成12年4月 岩手県師会理事就任 現在に至る

各支部報告

二戸支部

支部長 古舘 吉弘

会員の皆さんお元気でお過ごしでしょうか。令和7年に入り早2か月半が過ぎようとしています。昨年の年明け早々、能登地震が起きたりと大きな災害があり、また、秋には水害がありました。今年は何事もなく始まりほっとしていましたが鳥インフルが盛岡をはじめ私の住む軽米で発生しました。

また、本来1月は寒くて特に大寒は寒いはずなのに今年は暖かい1月でした。それと普通なら3月の半ばあたりに湿った雪が降るのですが、今年は1月の末に降り驚きました。2月はとにかく気温が低く寒くて、それに加え乾燥していて末には大船渡で山林火災が起きて大きな被害となりました。お見舞い申し上げます。

さて、二戸支部は会員が高齢会員1人と正会員2人の3人です。そんなことですので事業もできません。ただ、みんな元気で仕事はしていますが、なかなかこのご時世で私のところだけかわかりませんが患者は減る一方です。何せ、こんな小さな町ですので人口はどんどんと減り続けていて今後が危ぶまれます。とにかくできる限りやっていきたいと思いますが気が重いこの頃です。

どうぞ、こんな二戸支部ですがこれからもよろしくお願いします。

盛岡支部

支部長 佐藤 明

令和6年度に入り、支部活動はコロナ禍から平常の活動に戻り、業会活動や行事もおおむね計画通りに進められてきました。まず、4月に支部定例総会がありました。また、一年間を通して生涯研修会や東鍼連岩手大会、忘年会・新年会などの行事は14回実施されました。その参加会員数は、合計のべ112名で、前年比45名の増でした。

県師会の事業に協力するという方針から、研修会や行事等への参加費補助を行ったことで、参加率の向上と諸行事の盛り上げに大きく貢献することができたと思います。

支部総会出席者の17名と県師会総会の出席者20名を加えると149名になります。これは前年度の124名から25名増えたことになり、支部会員の積極的な協力による活動の成果の表れであり大変良かったことと思います。

また、9年目となる支部情報メールを22回配信し、年度末時点では通算184回になりました。その時々での活動のお知らせや諸連絡により、リアルタイムの情報共有と友和の役割を

果たすことができたことも良かったことだと考えます。

続いて一年間の活動日誌を報告します。

- 4月14日 令和6年度支部定例総会が開催され、会員数47名中、出席者17名、委任状19名、計36名が出席した。議長は村上晃(むらかみあきら)氏が務め、提案された全議案が全会一致で承認された。また、選挙管理人は村上直人(むらかみなおと)氏が選任された。今年度は役員選挙の投票があり、支部長は佐藤明が再任、監事は平子利男(たいことしお)氏が再任、澤田誠之(さわだのぶゆき)氏が新任となった。また、支部長の指名により、副支部長と事業部兼任は菊地弘(きくちひろし)氏が再任、会計に井口力(いぐちちから)氏が新任となり、総務部は菊池裕貴(きくちやすたか)氏、中渡智彦(なかわたりともしこ)氏、村上哲也(むらかみてつや)氏の3名が再任された。
総会終了後、第1回支部役員会議が開催され、役員8名が出席した。(盛岡市総合福祉センター)
- 5月12日 岩手県師会第83回定時総会に、会場に会員20名と付添い1名の計21名が出席し、委任状は15名。(アイーナ) 総会後の懇親会に、会員11名と付添い1名が出席した。(ジググリート)
- 6月 2日 岩手県師会令和6年度第1回生涯研修会に、会員15名、付添い1名が参加した。(アイーナ)
- 7月7日・8日 東鍼連岩手学術大会に、会員11名、付添い3名が参加した。臨床研究発表は私の「コロナ感染後の咳による鍼灸治療」。(花巻市・風の季)
- 7月28日 第2回支部役員会議が zoom 開催され、役員5名が出席した。
- 8月 4日 東鍼連他職種連携学術研修会に、会員3名、付添い1名が参加した。(仙台赤門医療専門学校)
- 9月 1日 鍼灸マッサージフェア 2024 に、会員12名と付添い1名が参加した。(アイーナ) 終了後の懇親会に会員5名と付添い1名が出席した。(魚民)
- 9月15日 三団体共催による健康保持のための研修会に、会員14名が参加した。(盛岡視覚支援学校)
- 9月18日 療養費レセプト新様式についての保険関連講習会が zoom 開催され、会員10名が参加した。
- 9月29・30日 第23回東洋療法推進大会 in 徳島に、会場参加会員1名、付添い1名、zoom1名が参加した。(徳島グランヴィリオホテル)
- 10月 1日 加賀野老人福祉センター主催の保健講座(ふれあいサロン)への講師依頼があり、健康体操指導員として佐藤明、澤田誠之の2名が出席した。(加賀野老人福祉センター)
- 10月20日 秋を楽しむ会・日帰り温泉旅行が当支部と視福協盛岡支部共催で実施され、当支部から4名が参加した。(鶯宿温泉・赤い風車)
- 10月27・28日 東鍼連宮城交流会に、会員1名と付添い1名が参加した。(宮城県松島)
- 12月 8日 県師会第9回生涯研修会に、会員11名、付添い1名、zoom2名の合計14名が参加した。(アイーナ) 終了後の忘年会に、会員9名と付添い1名が出席した。(ジググリート)
- 令和7年
- 1月19日 県師会主催の新年会に、会員8名、付添い1名の合計9名が参加した。(居酒屋・ひととき)
- 2月 9日 県師会第10回生涯研修会に、会員9名、付き添い1名、zoom1名の合計11名

が参加した。(アイーナ)

3月 2日 第4回支部役員会開催。4名出席。(岩手マッサージセンター)

次に、会員動向についてですが、年度末の3月31日現在、支部会員44名(前年比－3名)、県師会所属44名(正会員36名、家族会員4名、高齢会員4名)、県のみ所属4名、全鍼師会所属39名(正会員30名、準会員9名、その内訳、新資格者4名、従業員2名、高齢3名)となっています。

また、令和6年度の新入会者は4月25日に澤健汰さん(全鍼師会準会員:新資格者)が入会されました。退会者は5名でした。4月15日に清水寛平さんが11年間在籍され退会されました。4月22日に佐々木ひで子さんが31年間在籍され、同じく4月22日に夏井弘齊さんが25年間在籍されました。そして、4月30日に藤田茂樹さんが15年間在籍され退会されました。3月31日には県の副会長を務められた山本英典さんが全鍼のみ退会されました。4名の方は、それぞれの年数にわたり在籍されご貢献いただきました。心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

最後に、令和6年度は東鍼連岩手大会成功に貢献するなど支部会員が結束して活動し、そのほかの県師会事業にも全面的に協力することが出来たと思います。

遠野・花北支部

支部長 高橋 則夫

今年度の当支部のニュースは、何と言っても7月6日から7日にかけて花巻市松倉温泉「風の季(とき)」で行われた東鍼連大会です。

開催会場が私が日頃親しくさせていただいているホテルでもあったことから、県執行部とホテルとの仲立ちを務めさせていただきました。1年以上も前から何度も連絡を重ね準備を進めて行きました。

おかげさまで、当日は天気も上々で東北各県の参加者は勿論公開講座には市民の方々も出席してくれ、大いに盛り上がった大会となりました。昨年の大会を30名余りも上回る参加者とのことでほっといたしました。

私も歌う鍼灸師として懇親会では持ち歌を披露させていただきました。ありがとうございました。

地元開催ということで荷も重かったのですが、とても良い経験になったと思っています。

今後も業界発展のために微力ながら協力して行きたいと思っています。

奥州支部

支部長 中村 龍哉

長年支部長を務められた千田節雄さんが退任され、代りに私が務めさせていただくこととなりました。県師会では無免許対策委員長を拝命いたしました。

何も分かりませんが、これから少しずつ業界について勉強し頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

奥州支部の活動としては県師会の総会や研修会参加、東鍼連岩手大会への協力等行いました。

また、奥州きらめきマラソンあはきボランティアに当支部の村田さんが参加いたしました。

一関支部

支部長 館下 正則

業友の皆さん、元気にお過ごしでしょうか。令和6年の元旦は能登半島地震、羽田では飛行機事故と、辛いスタートとなりました。

活動報告

令和6年

4月14日 一関支部定期総会、福祉センター、会員7名、顧問1名出席

5月12日 第83回定時総会(会場:アイーナ)に会員3名出席

7月 7・8日 東鍼連岩手大会(花巻市)(会場:松倉温泉 風の季)会員3名参加

9月 1日 鍼灸マッサージフェア、会員2名参加

9月15日 三団体共催による研修会、2名出席

9月29・30日 第23回東洋療法推進大会 in 徳島大会、会員2名参加

令和7年

1月19日 第3回執行部会議並びに新年会(会場:アイーナ)、2名参加

会員動向

前年度と変わらず、会員9名で活動しています。

令和7年度も全鍼師会並びに東鍼連、県師会へ協力していきたいと思います。

大船渡支部

支部長 古水 健吾

いつも色々とお世話様です。この度の山林火災におきましては、みなさまから安否や避難状況などについてお声がけしていただきありがとうございました。会員の安否は、火災発生地域から離れているということもあって無事でした。

令和6年度の活動は、総会と忘年会を行ない、近況報告や情報交換等ができました。

前に行なっていたマッサージ奉仕活動を、やってみてはという話も出ましたが、まだコロナなどの感染症が少数発生しているということもあり、行うまでにはなりません。この活動については、今後も検討して行きたいと思います。

令和7年度も少数精鋭で、近況報告や情報交換などしながら活動して行きたいと思います。

釜石・宮古支部報告

支部長 佐々木 きみ子

今年度も支部としての活動は特には行いませんでしたが、県師会の総会や研修会には会員数名が参加いたしました。

特に、東鍼連岩手大会は隣の花巻市で行われたことから多くの参加を会員に呼びかけました。東鍼連岩手大会も大成功だったようでよかったと思っております。

釜石・宮古支部も会員の高齢化が進み活動も思うようになりませんが、これからも県師会の活動に協力して行きたいと思っております。

編集後記

広報部長 高坂 徳一

今年初めて役員となり、しかも私の苦手な文章をまとめるという仕事でした。会長や佐藤明副会長の力をお借りして、何とかここに会報を発行することが出来ました。お世話になった皆様に感謝いたします。

来年度はもっとスムーズに事がこなせるように頑張っていきたいと思っております。

奥 付

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会
令和6年度 会報「東洋療法いわて」第57号
令和7年5月1日発行

発行人 会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057

編集責任 広報部長 高坂 徳一
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 080-6002-6869

事務所(事務局) 会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057
E-mail: ms2001@aioros.ocn.ne.jp
<http://iwateken-harikyumasikai.jimdofree.com/>

印 刷 (株)日刊岩手建設工業新聞社
〒020-0015 盛岡市本町通三丁目9番33号
電話 019-623-8201
FAX 019-623-8204

KANAKEN

痛み・美肌・疲労回復に

Biomini II

— バイオミニ II —

バイオミニ II

KE-562 価格 138,000 円 + 消費税

(クラス II / 特製) 保証書番号: 226AFBZ00071000

- 定格電圧: DC5V、単三乾電池4本、専用ACアダプタ UC80120020 (入力 AC100V)
- 定格消費電力: 0.3W
- 寸法: (高さ) 97.1mm × (幅) 223.5mm × (奥行) 124.6mm
- 重量: 292g
- 最大出力電圧: 3mA_{rms} (1000Ω 負荷時)
- 最大出力電圧: 12.8V_{pp} (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数: 0.27~333Hz
- パルス幅: 1ms~1850ms
- 出力波形: パルス波
- 出力チャンネル数: 2チャンネル
- 治療時間: 15、20、25分
- 使用環境条件: 温度 10~40℃、湿度 30~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置: ゼロスタート方式、電圧スイッチ、出力レベル ON/OFF スイッチ
- 適合規格: JIS T2033 2011

付属品 (消耗品) 別売品
 ①和差導子 TRS-7000 ②フコアダプター (全1箱)
 ③オクトパスコード ④専用ACアダプター

4つのモードから選ぶ
簡単操作!!マイクロカレント
微弱電流

モード こり

モード 痛み

モード 美肌 (再生)

モード 疲労 (リンパドレナージュ)

- ▶痛めた部位をメンテナンス。
- ▶こりや痛みはお肌の大敵。

- ▶傷ついた身体の修復。
- ▶しみ・しわ・たるみ・くすみ肌を改善。

- ▶疲れ切った身体を回復。
- ▶疲れた体は美容の大敵。

痛

みの治療に新しい提案
 即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載



表層部位から深層部位まで刺激をコントロール。
 新開発の「PDM波形」を搭載。

KANAKEN

低周波治療器

SARNOS

— サーノス —

低周波治療器

SARNOS (サーノス)

KE-548 価格 850,000 円 + 消費税

(クラス II / 特製) 保証書番号: 222ALBZ00038000

- 定格電圧: AC100V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130V_{pp} ± 20% (500Ω 負荷時)
- 最大出力電流: 70 ± 10mA_{rms} (500Ω 負荷時)
- 出力周波数: 1.26kHz ± 10% ~ 1.74kHz ± 10% 2.7kHz ± 10%
- 出力波形: A、B
- 出力チャンネル数: 6
- 安全装置: ゼロスタート方式・ストップスイッチ・電源ヒューズ5A
- 本体の寸法: 幅 330mm × 奥行 351mm × 高さ 226mm
- 本体の重量: 約 5.2kg



【付属品】
 電源コード 1本
 アースコード 1本
 2P3P変換プラグ 1個
 導子コード 2本
 丸型電極 10個
 マジックバンド 3本
 添付文書 1部
 取扱説明書 1部

ただいまデモンストレーションを実施中です。
 お気軽にお問い合わせください。

総発売元 株式会社 カナケン

本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
 TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262

TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262
 E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016代

新潟営業所: TEL 025-286-0521代

福島営業所: TEL 024-961-7211代

仙台出張所: TEL 022-287-6273代

FAX 06-6935-3017

FAX 025-286-8870

FAX 024-961-7221

FAX 022-287-6218